輝人 かがやきびと

世界にひとつの山野草を

山野草栽培サークル『山野草新花作り仲間の集い』

『山野草新花作り仲間の集い』では、雪割草、エビネ、ウチョウラン、大文字草の主に４種類を主体に、人工交配・無菌培養で栽培しながら、年４回の展示会に加え、秋にはエビネの実技講習会を開催しています。代表の中村寅五郎さんにお話しを伺いました。

もともと山が好きで、よく登山に行っていました。この辺の山は、自然が豊かで、山野草もすぐに見つけることができます。しかし、近年は山野草ブームの影響で、山から山野草を取ってくる人が増え、山の環境も徐々に変わってきています。そんな状況を感じ、美しい山野草をいつまでも残したいと思うようになりました。

培養所の中でまもなく咲き始める雪割草を見守る中村さん(左)と会員

山野草の中でも、わたしたちが主に栽培している４種は人工交配し、種から育てると人間同様、同一の花が産まれることはありません。自分だけのオリジナルの花を無限に増殖させることもできます。全国に類のないサークルで県内外に参加登録している愛好者が300人を越え、能代の知名度も高まっています。

山野草作りを通して、仲間で協力しあったり、新たな交流が生まれたら、素晴らしいことだと思います。これからも仲間といろいろな意見を出し合いながら、頑張っていきたいですね。

そして活動を通じて自然を大事にしようと思う人が増えればうれしいですね。

※３月に開催される雪割草展の告知は17ページに掲載しています。

●いつもおじいちゃんと広報を配っています。みんな見てくれているとうれしいです。子どもたちが読めて勉強になるページがあればいいなあと思います。

●広報でいろいろな催し物などが紹介されていますが、各担当のところで、電話での申し込みのほかにファクスやメールでの受付がもっと増えたらいいと思います。そうすれば仕事を持っている人でも、時間を気にせずに申し込みできると思うのですが。時代に即した対応をしていただきたいと願います。

●1月27日号では市・県民税のことがよくわかりました。税のことは複雑で難しいので、今後もわかりやすく記事にして欲しいと思います。

☆広報広聴係から☆

市と地域が協働で進めるまちづくりにかかわって1年が過ぎました。活動の前提として、市（職員）と住民の間に信頼関係が必要だと思いますが、それを築くことの難しさをつくづく感じています。

以前、お金を集める課に配属され、そこで市民から違う課の職員に不親切にされたことや、市政への不満を延々と聞かされたことがあります。

のど元過ぎれば熱さを忘れる我が身を振り返り、人間関係の大切さを説いてくれた、特集記事でお伺いした職人さんの言葉が今も忘れられません。

（広報広聴係　佐々木）